

基本項目記入数

25

チャレンジ項目記入数

9

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																					
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17					
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		生コンクリート製造に伴う有害化学物質を把握し、適切な処理を行っている。責任者を任命し各事業所毎に管理している。			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1							
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		生コンクリートミキサー車やトラックの燃料の使用量、工場の機械設備などの電力を月別に把握し、それを踏まえたうえで、車両のアイドリングストップの実施や工場の機械設備の効率的な運用や稼働率を減らしている。							7.3						13									
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		燃費は月別に管理し、燃料や電力の使用量から温室効果ガスの排出量を把握した上で、生コンクリートミキサー車等を従来よりも燃費が良く、二酸化炭素の排出量が少ない新型車へ順次切り替えている。		2.4						7.2 7.3 7.a				12.4	13	14	15							
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		生コンクリート製造時の排水を再利用したり、汚水は機械設備で処理し、工場外に一切排出しないようにしている。						6.6									14	15						
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		生コンクリートが残ったときの残コンは、ブロックにして製品として販売し、再利用することで、産業廃棄物の削減に取り組んでいる。										9.4				12.2 12.4 12.5		14.1	15					
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		生コンクリートミキサー車などを洗浄したときに出る水は、排出するのではなく、その発生した汚水を砂・砕石・処理済みの水に分けて、処理済みの水は生コンクリートを練る時に再利用している。		2.4				6.1 6.3 6.4 6.6 6.b								11.5			14.1 14.2 14.3	15		17		
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		良質な材料を使い、コンクリートの寿命・建造物の寿命を延ばすことにより、環境負荷がかからないようにしている。														9.4			12.4 12.5	13	14	15		
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。		●	フードドライブ活動に参加してフードロス削減に取り組んでいる。		1	2					6.4									12.3		14	15	17	
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。		●																		11.6 11.7		13.1 13.3		15	17
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善または再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる。		●										7.1 7.2 7.3 7.a		9.4						11.5		13.1 13.3			
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・「伐って、使って、植えて、育てる」の持続的な森林利用への取組みを推進している。		●									6				9.4					11.3 11.4 11.5	12.2	13		15	
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。		●									6.1 6.3 6.6									11.3 11.4 11.5	12.2	13		15	
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。		●																			12.2 12.5		14		
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。		●																9.4			11.2		13.1 13.3		
	36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。		●										7.1 7.2 7.3 7.a		9.4						11.6 11.a	12.8	13			17.2

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																			
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17			
製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●		製品を出荷する際に、製品安全シートを作成し、品質をチェックした上で、出荷している。			3.9					9			12.4									
	38	【ユニバーサルデザイン】 ・障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●		職場や工場では、手すりの設置や段差の解消などで職場環境の改善に取り組んでいる。									9.1	10	11.7								17	
	39	【地域資源】 ・地産地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。		●				2.3 2.4				7.3	8	9		11.a	12.3	13	14	15				17	
	40	【木質化の取組み】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している。		●								7					12.2	13.1		15					
	41	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。		●	生コンクリートを製造するにあたり、良質な材料を使うことで、生コンクリートを製造するのに必要なセメントの量を減らしている。セメントの量を減らすことで、セメントを製造する際に出る二酸化炭素の排出を減らし、二酸化炭素計算シートをもとに数値管理している。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17			
	42	【攻めの農林水産業】 ・地域における産学官連携等による新たな品種開発を促進するなど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に取り組んでいる。		●				2.3 2.4						8.2	9.2 9.4		11.a	12.2		14	15			17	
持続可能な社会・地方創生	43	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●		従業員に対して、居住する地域の活動に参加するよう推奨している。また、事前に分かっている地域活動に関しては、職場からも告知し、参加を推奨している。事前に分かっている地域活動は町内の清掃作業やフードドライブ運動に参加する等を推進している。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17			
	44	【防災、減災、レジリエンス(自助)】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進めている。	●		地震や水害などの災害を教訓にして、生コンクリートの組合が作成しているBCPを使い、確実に避難出来る体制や避難時の連絡網などを整備している。災害及び停電時の対応手順を企業グループ内で確認している。				4							11.5		13.1			16				
	45	【防災、減災、レジリエンス(共助)】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加している。		●			1.5		3	4						10.2	11.5		13.1			16	17		
	46	【防災関連商品の開発・販売】 ・防災関連商品の開発・販売を促進している。		●										9			11	12	13.1						
	47	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている。		●	社内でSDGsに関するメール発信やミーティングを定期的実施し、従業員にSDGsへの意識づけをしている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17			
	48	【インターンシップ等の受入れ】 ・職場体験、インターンシップの受入れ、職場関連授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。		●	生コンクリートの組合などの関係団体と共同で行事に参加し、学校でコンクリートについての出前講座を行っている。				4					8.6		10.2								17	
	49	【若者の地元定着等】 ・若者の県内就職を促進する取組みを行っている。		●	地元の就職説明会などに積極的に出向き、地元の学生等を積極的に採用・雇用している。また、従業員からの人材紹介や既存従業員のご子息を新規雇用している。				4.4				8.5 8.6										17		
	50	【農林水産業の担い手確保】 ・子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産業従事者の確保に取り組んでいる。		●				2		4.3 4.4 4.5				8.6		10.2		12	13	14	15			17	